

県立病院ではたらく仲間をつなく

病院組合ニュース

11.4.8 No.49

愛知県病院事業庁職員組合
〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-3-2
愛知県自治センター内
電話(052)954-6882 FAX(052)972-0649
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

県職連合フラッシュセミナー開催



参加者で記念撮影



11年度の新規採用者を対象に、4月4日、アイリス愛知でフレッシュセミナーを開催しました。愛知の医療を担う新しい力として、大いに期待しています。

①病院を選んだ理由
②マイブーム

★小川 明伸(中央病院) ①最先端のがん看護を学びたかった。②がん看護の勉強 ★野中 智子(愛知病院) ①実習で世話話になり、雰囲気良かったから。②海外ドラマ「フルハウス」★(愛知病院) ①がん看護をやりたいかった②当地キユーピーを集める。★池原 千波(小児センター) ①石川県には小児専門の病院がなく、子どもが好きで子どものケアのプロフェッショナルになりたいと選んだ。②テニス★石田とも子(小児センター) ①病院見学に来て病院のイメージが変わった。地域に密着した病院だと思った。②手芸。筆箱を作成した。

(4面に続く)

県職連合青年部 夏季レク

陽気なヤングが 愛知をまわす

inカルフギヤグパッカフェ

日時：2011年6月17日(金)
19時開始/21時終了
(18時30分受付開始)

場所：カルフギヤグパッカフェ
(愛知県芸術文化センター10F)

内容：マナー講座、立食パーティー
定員：150人(30歳未満組合員)
会費：3,000円(飲み放題2時間付き)
お誘い合わせの上、ご参加ください♪
※申込書は4月中旬に送付します。

現業の給与の見直しについて

病院事業庁は、「現業業務の見直しは平成21年度に行ったが、すべて終わったわけではない。給与制度の適正管理を行っていく上で、も来年度(23年4月以降)早々に人事課を中心に検討を進めているので提示をしたい。」としています。

(退任あいさつ)

▼がんセンター中央病院 院薬剤部長 大石和明
▼がんセンター中央病院 松井通庫
(新任あいさつ)
▼健康福祉部健康担当 局長 加藤欽一▼防災局長 樋口光男
▼病院事業庁管理課長 深尾敏明▼病院事業庁管理課主幹 浅田和男▼病院事業庁経営課長 河合信広

病院組合フィードバックについてのアンケート調査まとめ (3月25日現在の集計結果)

評価結果のフィードバックはありましたか					フィードバックの内容について説明されましたか				
分会	NA	あった	なかった	総計	分会	NA	説明された	説明されなかった	総計
愛知病院	2	164	41	207	愛知病院	40	153	14	207
小児センター	1	103	59	163	小児センター	58	86	19	163
城山病院	1	80	6	87	城山病院	8	59	20	87
中央病院	1	215	35	251	中央病院	33	187	31	251
尾張診療所		9		9	尾張診療所		9		9
総計	5	571	141	717	総計	139	494	84	717

説明に納得できましたか				自己評定の記入について							
分会	NA	納得できた	納得できなかった	分会	NA	下書きを訂正	自分の意思で記入	提出後訂正言われた	訂正しなかった	総計	
愛知病院	52	149	6	207	愛知病院	45	8	108	9	2	172
小児センター	73	84	6	163	小児センター	50	14	58	6	2	130
城山病院	21	52	14	87	城山病院	15	2	63	5	2	87
中央病院	58	182	11	251	中央病院	43	7	122	12	1	185
尾張診療所		8	1	9	尾張診療所			2			2
総計	204	475	38	717	総計	153	31	353	32	7	576

給与反映で自分や職場での変化は

分会	NA	その他	意欲が薄れた	給与反映がわからない	元気が出た	将来性が持てない	人間関係が悪くなった	働き安くなった	総計
愛知病院	18	18		39	69	1		8	153
小児センター	12	9		27	28	1	2	7	86
城山病院	10	9	2	26	7	1		4	59
中央病院	35	30	9	42	58	4		9	187
尾張診療所	2	2	1	1	2			1	9
総計	77	68	12	135	164	7	2	29	494

①病院を選んだ理由
②マイブーム

★三輪 政典(小児センター) ①子どもが好きで、小児看護がしたかったから。②特になし。★深谷 真衣(小児センター) ①小さい頃から看護師になりたくて、まっしぐら。学校の先生に専門性の高い小児センターを紹介された。②ペットのハムスター、癒されてます。★倉岡 光穂(小児センター) ①県民のために働きたいと思ったから。特に小児センターに興味があった。②テニス、音楽鑑賞★佐々木 史織(城山病院) ①実習で精神に興味をもった。②お菓子作り



加藤病院事業庁次長(左)と吉本委員長

春闘回答される

春闘の要求書を3月23日に提出し、30日に回答が示されましたが、加藤病院事業庁次長からは「マンパワーについては、なければならぬことはわかるが、経営のことを考えると余裕を持つてというところまでは難しいかもしれない。」

「城山病院の改築に合わせて、今は愛精協等から、城山の設備、マンパワーについて過大だとの意見ももらっている。」

「東北地方太平洋沖地震についても今は緊急的な措置を行っているが、沿岸部では病院

機能がなくなってしまう。半年、1年たつたときにマンパワーが不足することがあるかもしれないが、我慢して危機を共有する必要がある。一緒にできるか検討をしていく必要がある。」

「今後、どのようになるかわからないが、仲間の何人かは送らなければならぬ。その時期には考えていたきたい」

「育児短時間勤務、24時間院内託児所については、子育てから託児所、保育所についても県議から質問ももらった。24時間が良いのか、長時間保育、病児保育が良いのか、「現場の声」をお互いに集約していくことが必要となっていく。」

「今後も労使の関係を尊重することを心してやっていきたい。」と発言されました。

「地域医療の維持・向上と職員の生活・働きがい高めるための2011春闘要求書」に対する回答 2011.3.30

要 求	回 答
1 引き続き、組合との労使関係を尊重し、賃金・労働条件等に関する課題については、労使合意を基本とした対応をすること。	1 諸課題については、今後ともこれまでの信頼関係を大切にしながら誠意をもって組合とよく話し合っていきたい。
2 2年連続となった給与削減は組合員の生活に多大な影響を与えるため、いかなる理由があろうとも今後二度と行わないこと。	2 職員の給与については、知事部局において、6月議会における本格予算編成に向けて、財政状況等を十分見極め、しっかり検討していきたいと回答されたので、その動向に注目していきたい。
3 職員がやりがい・働きがい・誇りを持って安全・安心な医療・看護を行うために、医療実態に合った労働条件を保障すること。	3 職員が生き生きと働ける職場づくりに、今後とも努めていきたい。
4 医師、看護師など人員不足にならないためにも、職員の確保に向け予算も含め具体策を講じること。	4 医師、看護師などが魅力を感じる県立病院となるよう、今後とも取り組んでいきたい。
5 子育て支援、仕事と家庭の両立の観点から育児短時間制度、24時間院内託児所等について最大限努力をすること。	5 子育て支援に係る事項については、組合と話し合いながら、実現に向けて努力していきたい。

23年4月1日の充足状況について

所 属	職 種	欠員数	対 応	
本 庁	事務職	1	臨任	
がんセンター	運用部	1	再任用	
	中央病院	看護師	10	臨任が2名、4月に職場復帰が7名、育休に1名入ることにより6名は確保されるので、2名の欠員となる。
		薬剤師	1	臨任
		臨床検査技師	2	再任用
	研究所	技 師	1	臨任
愛知病院	臨床検査技師	2	再任用	
城山病院	看護師	1	臨任(募集中)	

嘱託

所 属	職 種	欠員数	対 応
愛知病院	看護師	1	募集中
	MSW	1	募集中



給与への反映
昇給・勤勉手当
対象者拡大される

病院事業庁は「勤務評定の給与への反映について」の見直しを2月に提示してきました。組合は現行の「勤務評定」での給与への反映であることから、昇給については、昇給号給、対象者の割合については従前の60%に近づけること、勤勉手当についても、成績率(加算割合)の格差を広げないことを主張してきました。

病院事業庁は、3月25日に下表の内容で給与への反映について提示しました。

内容は、昇給について1号換算で50%の加算対象となり、派遣職員分を含めれば、ほぼ従前の60%に近い割合となっております。

勤勉手当については「昇給」と同様に最上位、上位の2区分に加算することとして、対象者も昇給と同様な割合になりました。

3月25日 病院事業庁提示内容

区分(勤務評定の結果)	昇給		勤勉手当	
	昇給号給	対象者の割合	成績率	対象者の割合
最上位(S)	6号(+2号)	うち約10%	0.725(+0.05)	うち約10%
上位(A)	5号(+1号)	約40%	0.7(+0.025)	約40%
標準(B)	4号	約60%	0.675	約60%
下位(C)	2号	設定なし	0.3375	設定なし
最下位(D)	なし	"	なし	"

管理職以外がフィードバックを義務化する 事業庁陳謝

病院事業庁はこれまでの交渉で、「組合が問題視している管理職以外がフィードバックを実施していることはないと考えている。もしあれば所属、職種等を教えてほしい。」としていました。

今年度もフィードバックの通知(3月3日、伝達者は担当部長・室長等、評価結果を十分説明できる管理職の職員が行う)をしたが、組合から指摘されたとおりに管理職以外がフィードバックを行った所属があったことを認めて陳謝をしました。

病院組合では「給与への反映」についての交渉を進める中で、現行の勤務評定の問題を重くとらえ、短期間で

フィードバックアンケート結果

○フィードバックを実施したのは誰ですか

	管 理 職	そ の 他
実施した役職	部長・看護部長・副看護部長(がんセンター中央病院のみ)・室長・課長	師長・主査・補佐・科長・副看護部長(がんセンター中央病院を除く)
人 数	321	252
割 合	56%	44%

○フィードバックで内容について説明されましたか

説明された	説明されなかった
494	84
85%	15%

その結果、3月25日時点では、141名がフィードバックが「なかった」と答え(アンケートの取り組み期間が短いためその後フィードバックはされていると思いますが、実際に行われていない職員もいました。)、

「あつた」と答えた職員でも44%の職員は管理職以外が行っている。また、組合も問題なく実施されています。今後もしっかり行っていくことを強く要求しました。

組合は今後のフィードバックについて、査定昇給導入時に確認された事項は必ず守り、23年度のフィードバックを問題なく実施していくことを強く要求しました。

組合も問題なく実施されています。今後もしっかり行っていくことを強く要求しました。